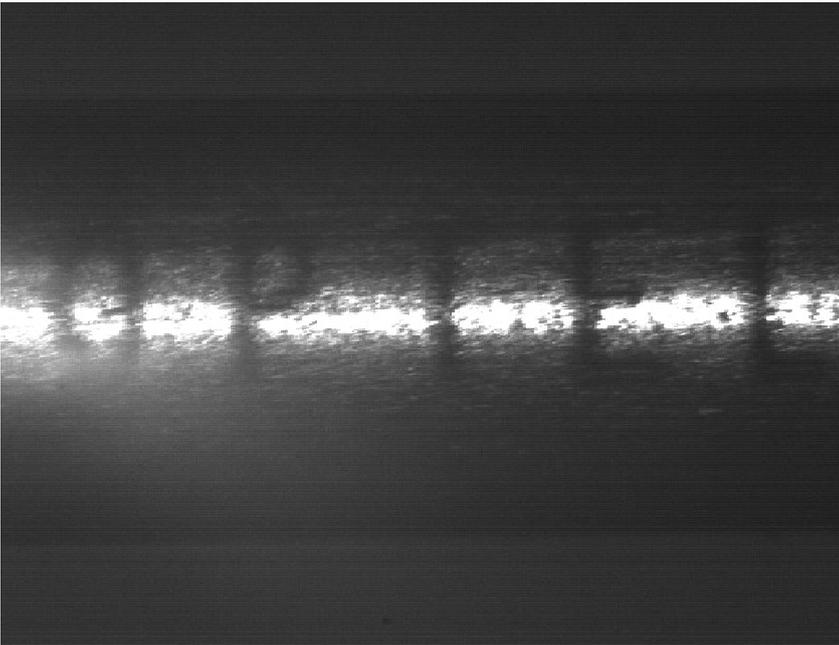


< 微細印字システム >

小さなインクで表示しにくいもの表面に数字やアルファベットの印字をすることができます。(漢字の印字も可能ですー以下サンプル参照) 文字サイズは、数 $10\mu\text{m}$ 以上なら可能です。レーザが当たる点がモニターで確認できるので、加工中も経過状態を見ることができます。また、レーザの集光点と試料のピントが一致するので、小さな試料にも加工点を合わせるのは容易です。

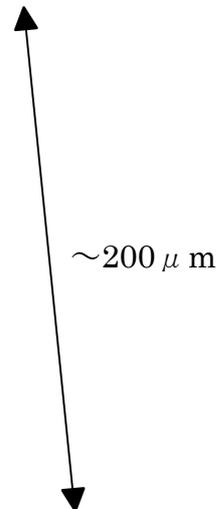
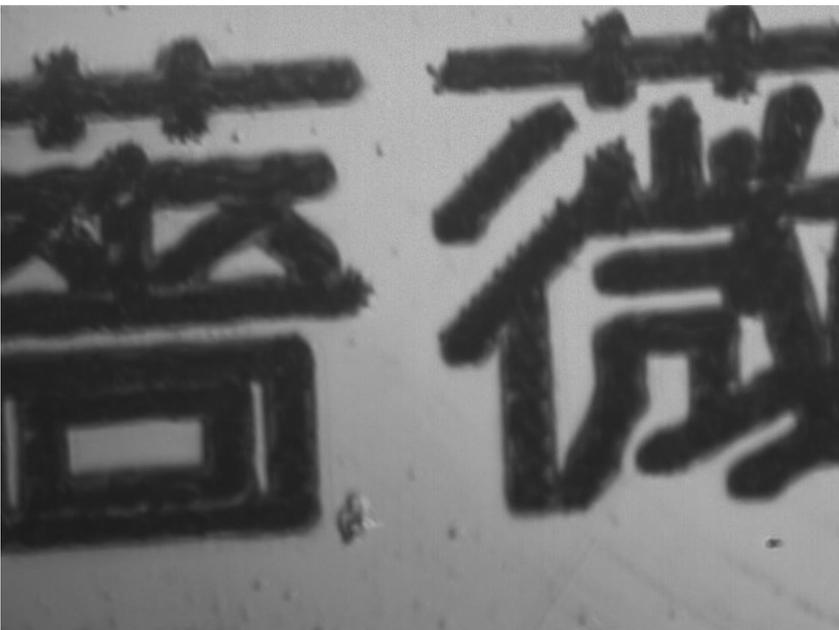
実際の加工例

注射針に文字の高さは、 0.5mm の文字を加工

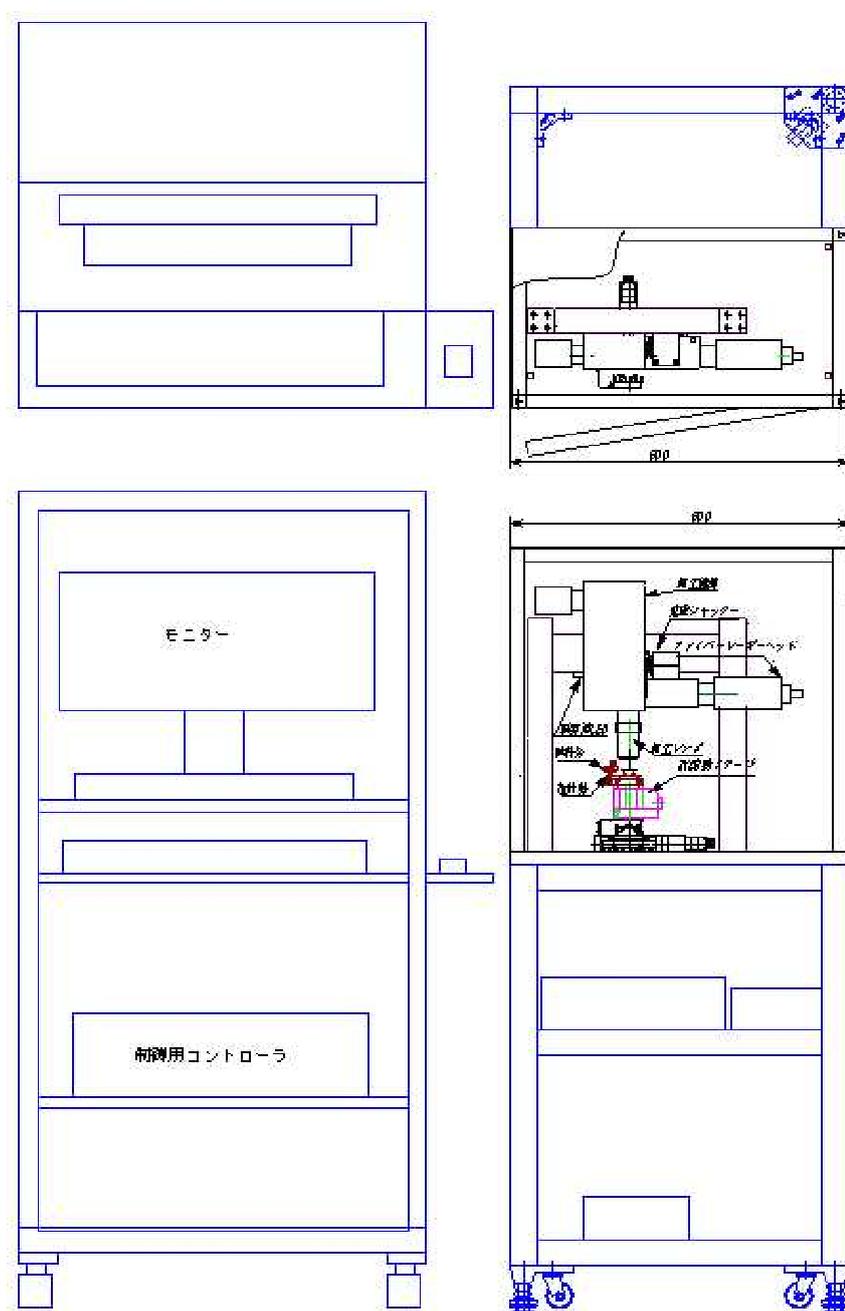


見づらいですが、
OPTEL
と印字してあります

クロム膜上に高さ $200\mu\text{m}$ の漢字を加工



加工サイズ	20×20mm 以上
線幅	10 μ m 以上(対物レンズまたは、レーザパラメータによって変わります)
加工形状	CAD(DXF)の自動加工または手動操作によるライン加工 文字列は CAD 上で製作します。 予め登録している数字とアルファベットをコピーして加工する寸法に縮小して実際の加工サイズにします。
加工対象	金属、セラミック、宝石、サファイアガラス、ガラス (試料によっては、レーザ出力を及び対物レンズを換える必要があります)
安全対策	加工部は、金属板で遮蔽しています。 扉を開けた場合は電磁シャッターが閉じる構造になっていてレーザが対物レンズから出射することは有りません。
メンテナンス	レーザが長寿命であるとともに加工鏡等も劣化しにくい設計になっているため加工による汚れの対策を行うだけで長い期間安定して使えます。



[システム概観図]